

フジコーポレーション 2019年信越販売店会議

大型SQシリーズ2機種発表

AI搭載SHシリーズも紹介

フジコーポレーション新潟県新潟市小池285・☎0256(6)5511・藤井大介社長は3月18日、「当県高田リゾートベルナティオ」(新潟県十日町市珠川・☎025(758)4888)において、「2019年フジスノーロータリー信越販売店会議」を開催した。会議には同社から14人、販売店31店33人、大手販売会社2社6人が参加する中、2018年度(2018年5月12019年2月)の実績や、来年度(2019年5月12020年2月)の営業目標と営業方針が示された。また新型スノーロータリーは大型2機種とAI(人工知能)搭載の小型SHシリーズが紹介された。



藤井社長

会議の冒頭、吉井吉次取締役機械事業部長が挨拶し、来シーズンの活動方針について、①販売店様と一体となった営業展開②強みを強化したシリー

ズ化③消費税アップの前倒し需要の拡大④安全啓蒙活動⑤予約率のアップの5点を挙げた。

新製品発表では、栗林広之商品開発部次長による新型スノーロータリーSQ1243DK-z(除雪幅1200mm、42・8馬力)とSQ1231DK-z(除雪幅1200mm、30・5馬力)とSQ1233DK-z(除雪幅1200mm、30・5馬力)とSQ1235DK-z(47・2馬力)とSQ1233DK-z(34・7馬力)のSQシリーズに追加発売したもので、大型SQシリーズは4機種とさらに充実した商品構成となった。

続いて屋外で新型SQ1243DK-zによる除雪作業のデモンストラーションが行われた。新型SQ1243DK-zは最大出力42・8馬力エンジンを搭載。パワフルで快適な除雪作業が可能にした。

さらに多くの機能を搭



販売店会議の様子



発表した新型除雪機SQ1243DK-z



SQ1243DK-zの実演



会議参加者での記念撮影

載。①従来の投雪方向に加え投雪距離の自動制御「マチックPlus」を装備。路面の接離による衝撃を防ぐので、シャープボルトが折れにくくなった。

②従来の投雪方向に加え投雪距離の自動制御「マチックPlus」を装備。路面の接離による衝撃を防ぐので、シャープボルトが折れにくくなった。

③ミラクルオーガの装着で、オーガ部分への雪の滞留を低減し、除雪作業が効率化④エンジン状態を常に確認できる専用ビューワーを装備。

108項目の不具合簡易診断も可能。また、サービスマインター機能により任意の設定時間でオイル等5項目の交換時期

を知らせる⑤クラッチの新型LEDモニタパネル防止し、密着性を高め、シャーボルトの交換頻度を大幅に低減した。

【希望小売価格・税込】

SQ1243DK-z
¥459万円
SQ1231DK-z
¥397万4400円